

基地関係特別委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 平成 28 年 12 月 14 日（水）

午後 1 時 00 分 開会

午後 1 時 24 分 閉会

○ 場 所 第 3 常任委員会室

○ 出席委員（10名）

委員長	桃 原 朗
委員	宮 城 克
委員	山 城 康 弘
委員	濱 元 朝 晴
委員	桃 原 功

副委員長	伊 波 一 男
委員	石 川 慶
委員	伊 佐 哲 雄
委員	比 嘉 憲 康
委員	我 如 古 盛 英

○ 欠席委員（0名）

○ 委員外議員（1名）

—	知 念 吉 男
---	---------

○ 説明員（0名）

○ 議会事務局職員出席者（2名）

課 長	多 和 田 眞 満
-----	-----------

議事係長	中 村 誠
------	-------

○ 協議案件

1. MV-22 オスプレイの名護市沿岸部への墜落事故に係る抗議決議等について

基地関係特別委員会 会議録（要旨）

平成 28 年 12 月 14 日（水）

○**桃原朗 委員長** ただいまから基地関係特別委員会を開会いたします。

（開会時刻 午後 1 時 00 分）

【協議事項】

MV-22 オスプレイの名護市沿岸部への墜落事故に係る抗議決議等について

（基地渉外課長より、事故の経緯と本市の対応状況を説明する）

○**桃原朗 委員長** ただいまの説明について質疑等はあるか。

○**桃原功 委員** いただいた資料の中にある「防衛省、自衛隊の対応」とは、事故に係る救助ということで認識してよいか。

○**基地渉外課長** 当該資料はファックスでいただいております、詳細な説明は受けていないことから、これから確認してまいりたい。

○**桃原功 委員** 昨日夜、深夜零時を過ぎた時間にもヘリの音が聞こえたが、当該事故に関連しているのか。

○**基地渉外課長** 今から 10 分ほど前に沖縄防衛局より「普天間飛行場内において着陸時にランディングギアが壊れた機体が 1 機あった」との連絡を受けており、今回の名護沖の事故とは別のものであると認識している。

○**桃原功 委員** 現在、本市では測定器を設置していると思うが、当該事故以降の普天間飛行場内での飛行の有無については、市で把握されているのか。

○**基地渉外課長** 測定器は測定日の翌日にしかデータが送られてこないことから、今日の測定分については、明日にしか把握ができない。

○**桃原功 委員** 今後、緊急時の対応も必要になってくることから、いち早く情報を入手できるような仕組みづくりも検討できないか。

○**基地渉外課長** 騒音測定器は、県のシステムを使用していることから、緊急時の対応が可能かどうか確認してまいりたい。

○**桃原朗 委員長** ほかに市当局への質疑はあるか。
（質疑なし）（市当局退室）

○**桃原朗 委員長** 当該事故に対する委員会の対応について協議いただきたい。

○**濱元朝晴 委員** 抗議決議をするべきと考える。

○**比嘉憲康 委員** 抗議決議をするべきと考える。

- 伊佐哲雄 委員 全く同意見である。
- 伊波一男 委員 しっかりと抗議していくべきものとする。
- 桃原朗 委員長 委員会として抗議決議等を提出することとしてよいか。
(異議なし)
- 桃原朗 委員長 抗議決議の文案については、呼びかけ人である桃原功委員にたたき台を作成していただき、次回の委員会で協議することでよいか。
- 桃原功 委員 議会としても可能な限り早めに対応すべきと考えており、本日の本会議終了後に再度、委員会を開催してはどうか。
- 山城康弘 委員 早めに対応すべきと考えるが、文案については、一度会派へ持ち帰り精査してまいりたい。
- 我如古盛英 委員 文案の調整ができた場合、最短でいつ本会議での議決が可能か。
- 議会事務局 仮に明日、委員会で文案を決定した場合、明後日 16 日（金）には本会議での議決も可能と考えている。
- 桃原功 委員 今定例会の最終日である、20 日（火）の本会議終了後に抗議先に対し、直接要請をしてはどうか。
- 桃原朗 委員長 早期に要請行動ができるよう要請先と日程調整をすることとし、文案については明日 15 日（木）午後 1 時から委員会を開催し、引き続き協議してまいりたい。

【協議結果】

本件に係る抗議決議及び意見書については、同委員会で取り扱うこととし、文案については次回の委員会で引き続き協議していくことに決定する。

-
- 桃原朗 委員長 以上をもちまして、本日の基地関係特別委員会を閉会いたします。
閉会時刻（午後 1 時 24 分）